

TOEIC® Speaking & Writing Tests、 2025年度の受験者数・採用団体数がともに過去最多に ～「TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2026」を発表～

日本で TOEIC Program を実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）（所在地：東京都中野区中野、理事長：藤沢 裕厚）は、2025年度のTOEIC Programに関する受験者数（申込者データ）を公表するとともに、公開テストおよび団体特別受験制度（以下、IP テスト）の実受験者データに基づき、受験者の傾向や平均スコア等を集計した資料「TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2026」（以下、DAA2026）を発表します。DAA2026では、2025年度（2025年4月～2026年3月）の結果をもとに、各テストの受験動向やスコアの分析などをまとめています。

※本リリース（タイトルを含む）に記載の受験者数は、申込者ベースの数値です。なお、「DAA2026」に掲載のデータは、実受験者ベースの数値です。

※公開テストは、個人が直接申し込み、当協会の管理のもとで実施する受験制度です。団体特別受験制度（IP テスト）は、企業・大学などの団体が、所属する社員・学生を対象に、団体内で随時実施する受験制度です。

■2025年度 TOEIC Program の受験者数

2025年度は、TOEIC Program 全体では受験者数は約216万人、採用団体数は約3,900団体を記録しました。2024年度と比較すると、受験者数は約6万人増、採用団体数は700件増と、それぞれ伸びを見せています。

■TOEIC Speaking & Writing Tests の受験者数・採用団体数が過去最多に

テスト別に見ると、TOEIC Listening & Reading Test（以下、TOEIC L&R）の受験者数は、公開テスト・IP テストの合計受験者数が2024年度比で2.9万人増の196.4万人となりました。また、日常生活やグローバルビジネスにおけるコミュニケーションに必要な「英語で話す・書く力」を測定するTOEIC Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC S&W）は、公開テスト・IP テストの合計受験者数が2024年度比30%増の約5.1万人となりました。採用団体数についても、約460件となり、拡大しています。その結果、TOEIC S&Wは2007年の開始以来、受験者数・採用団体数ともに過去最多を記録しました。

TOEIC S&W 受験者数・採用団体数

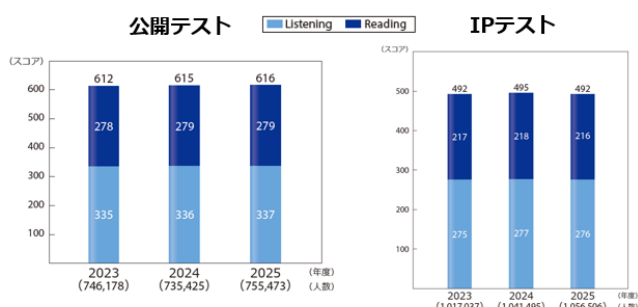
	2023年度	2024年度	2025年
受験者数（公開テスト・IP テストの合計）	約3.7万人	約3.9万人	約5.1万人
採用団体数	約380団体	約410団体	約460団体

※受験者数は申込者ベースの集計です。

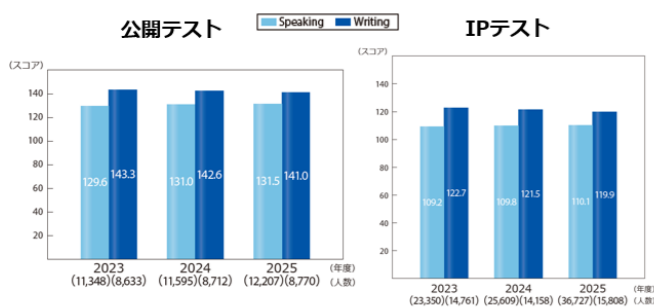
■【DAA2026より】TOEIC L&R/TOEIC S&W 過去3年間の平均スコア

2025年度のTOEIC L&Rの平均スコアは、公開テストでは616点、IP テストでは492点でした。一方で、TOEIC S&Wの平均スコアは、公開テストではスピーキングが131.5点・ライティングが141.0点、IP テストではスピーキングが110.1点、ライティングが119.9点でした。また、直近3年間の平均スコアは同程度で推移しています。

TOEIC® Listening & Reading Test



TOEIC® Speaking & Writing Tests

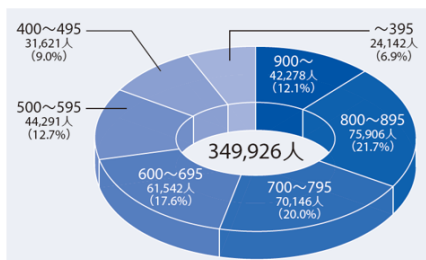


■【DAA2026 より】TOEIC S&W 受験者と TOEIC L&R スコア

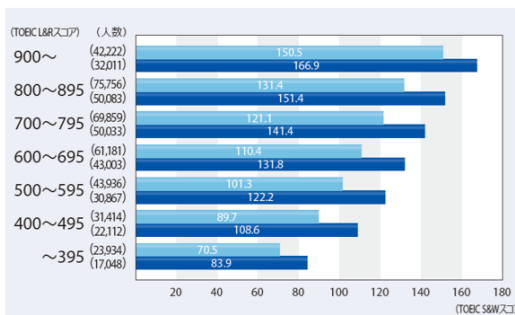
TOEIC S&W 受験者について、TOEIC L&R スコア別の構成比で見ると、800 点台の方が 21.7%と最も高い割合を示しており、600 点以上の方が全体の約 7 割を占める結果になりました。TOEIC S&W に挑戦する方は、600 点以上の方が多くことがわかります。その一例として、600 点台の方の TOEIC S&W 平均スコアはスピーキングが 110.4 点、ライティングが 131.8 点です。これらのスコアを、実生活や職場でどのような行動ができるかを示す「Can-do ガイド」に当てはめると、例えば、スピーキングでは「海外からの来訪者にちょっとした観光案内ができる」レベル、ライティングでは「上司に課題の進行状況を説明するメモを書くことができる」レベルに相当します。

TOEIC S&W 受験者と TOEIC L&R スコア

TOEIC L&R スコア別 TOEIC S&W 受験者数



TOEIC L&R スコア別 TOEIC S&W 平均スコア



公開テストとIPテスト受験者のうち、スコアについてのアンケート調査項目に回答されたデータを集計（公開テストは2007年1月から2026年3月まで、IPテストは2008年6月から2026年3月までの累計）

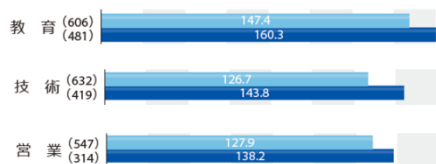
■【DAA2026 より】TOEIC S&W 職種別受験者数と平均スコア

TOEIC S&W 受験者を職種別に見ると、公開テストでは「教育」「技術」「営業」の順に、IP テストでは「技術」「営業」「研究」の順に受験者数が多いことがわかります。なかでも「技術」職は公開テスト・IP テストの双方で受験者数をけん引しています。

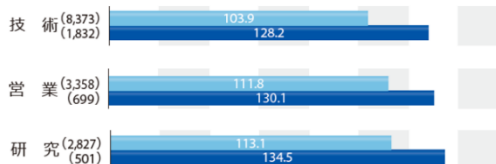
TOEIC S&W 職種別受験者数と平均スコア

Speaking Writing

【公開テスト】 社会人データ

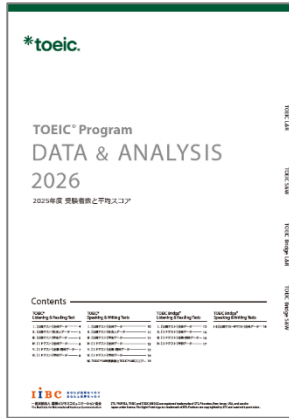


【IPテスト】 社会人データ



■IIBC 広報責任者 宮川卓也よりコメント

今回発表した内容からは、TOEIC L&R に加え、TOEIC S&W に対するニーズが着実に高まっていることが確認できました。AI の活用が進む時代においては、相手や目的に応じて意図を的確に伝え、建設的なコミュニケーションにつなげる力の重要性が一層増すと考えています。TOEIC S&W は、日常やビジネスの場面でのコミュニケーションのタスクを問題としており、“伝わるかどうか”を評価することで、実践的な英語での発信力・応答力を可視化できる点に特長があります。AI の活用が進み、伝える力が重要視される今、より多くの方にご自身の“英語で伝える力”を見える化する機会として、ぜひご活用いただけますと幸いです。IIBC は今後も TOEIC Program を通じて、学習機会および英語力測定のを機会を提供してまいります。



『TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2026』概要

TOEIC L&R や TOEIC S&W に関する以下の情報が含まれております。その他、TOEIC Bridge® Tests のデータもご覧いただけます。

- 職種別、役職別の平均スコア
- 所属学校別、専攻別の平均スコア
- 海外滞在経験・期間別の平均スコア（IP テストのみ）

詳細はこちら：https://www.iibc-global.org/hubfs/library/default/toeic/official_data/pdf/program-data-analysis-2026.pdf

本リリースに関するお問い合わせ先

IIBC あなたが世界をつなぐ
あなたと世界をつなぐ
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC)

広報課 担当：鈴木・志摩

Tel : 050-1790-7399 Mail : pr@iibc-global.org 公式サイト：<https://www.iibc-global.org>

TOEIC® Program

TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC® Speaking & Writing Tests、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests、TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests の総称。4 つのテストを合わせた TOEIC® Program は世界 160 カ国、約 14,000 団体で実施されている。



TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。テスト結果は 10 点から 990 点までのスコアで評価され、その評価の基準は常に一定に保たれる。スコアによる評価や英語能力を正確に測定できる質の高さが評価され、企業・団体においては昇進・昇格の要件、また、社員の採用の際などに参考にされている。学校においても入試や単位認定などで広く活用されている。2025 年度の日本における受験者数は約 196 万 4 千人で、1979 年のテスト開始以来、累計 5,000 万人以上が受験。

2020 年 4 月より、企業・学校・団体に実施される団体特別受験制度 (IP テスト) において、オンライン方式のテストを導入、約 1 時間での実施が可能となる。公開テストは従来のマークシート方式 (2 時間) のテストを実施。

TOEIC® Speaking & Writing Tests (TOEIC® S&W)

日常生活やグローバルビジネスにおける活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。テスト開発機関である ETS の認定を受けた複数の採点者が公平に採点し、可否ではなく、0 点から 200 点までのスコアで評価する。また、発音・イントネーション/アクセントについても 3 段階で評価を知ることができる。TOEIC® Listening & Reading Test と同様、日常生活やビジネスの場面で採用されているが、特殊なビジネス英語や特定の業界・分野の知識を必要としたり、特定の国の歴史や文化に関連する固有の事象がわからなければ解答できない問題などは含まれていない。2025 年度の日本における受験者数は約 5 万 1 千人。

TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で聞く・読む能力”を測定するテスト。TOEIC® Listening & Reading Test への架け橋という意味を込めて、基礎的なコミュニケーション英語能力を評価する世界共通のテストとして開発され、2001 年より TOEIC Bridge® Test として開始。2019 年 6 月より、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests としてアップデート。スコア表示による評価方法や、評価の基準が常に一定に保たれる点など、TOEIC® Listening & Reading Test の特長を備えつつ、初・中級レベルの英語能力測定に照準を合わせて設計されたテスト。2025 年度の日本における受験者数は約 14 万 3 千人。

TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests

英語学習初級者から中級者を対象として、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な“英語で話す・書く能力”を測定するテスト。ETS が新たに開発をし、日本では 2019 年 6 月より開始。テスト会場にてパソコンを使用して実施する。TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests と同じく、30 点~100 点のスコアで評価する。スコアは 1 点刻み。2025 年度の日本における受験者数は約 5 千 7 百人。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC: The Institute for International Business Communication)

「人と企業の国際化の推進」を基本理念とし、1986年に設立。

「グローバルビジネスにおける円滑なコミュニケーションの促進」をミッションとし、国内外の関係機関と連携しながら TOEIC® Program およびグローバル人材育成プログラムを展開している。